

## コース 23 <sup>たにがわだけ</sup> 谷川岳、<sup>いちのくらだけ</sup> 一ノ倉岳、<sup>しげくらだけ</sup> 茂倉岳縦走

リーダー CL N/S SL E/S

実施日 平成22年7月31日(土)

天候 曇りときどき晴れ

参加者 15(男性 7 女性 8)

グレード C上~D

コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
区役所前		4:30	2名不参加。15名の山行
谷川岳ロープウェイ	7:05	7:15	登山準備、全員一括ゴンドラ乗車
天神平駅	7:28	7:35	準備体操、出発
肩の小屋前広場	9:59	10:10	休憩
谷川岳トマノ耳 1963m	10:20	10:25	眺望効かず、1名リタイア、SLと下山。
谷川岳オキノ耳 1977m	10:45	10:52	達成感で皆笑顔。高山植物が花盛り
一ノ倉山頂 1974m	12:28	12:30	一ノ倉と茂倉間で昼食(12:35~13:10)
茂倉岳山頂 1978m	13:25	13:27	記念撮影。眺望効かず。
矢場ノ頭	15:10	15:15	茂倉避難小屋でのトイレ、水場が有難い
茂倉岳登山口	17:39	17:50	檜廊下の根張りを下る。入浴後帰着の途へ
区役所前	21:00		全員無事帰宅

### 山行等概要(幹事のコメント)

- 申込17名が15名となった山行。谷川岳山頂からは13名での山行となった。
- 分水嶺がはっきり分かる厳しい岩壁の谷川岳から一ノ倉岳間は、岩の隙間から覗く、多種多様な花々に感激。花の宝庫とは正に之と言えた。
- 茂倉岳までの穏やかな稜線では、ニッコウキスゲ、クルマユリ、ハクサンフウロ、タテヤマリンドウなど沢山のお花畑に一同満足。また、ちょっと遅い昼食で、疲れた身体の回復とお腹も満足。満足満足。
- 13名は長丁場を乗り切り、怪我もなく無地下山できたことは、一致団結した皆さまのお陰です。厳しい山行となったことに対して、猛反省。



オキノ耳 1977m

## 「谷川岳縦走登山にて」

(1481) H/Y

常念岳登山から五日目のまだ少し疲れが残っている体で谷川岳登山に参加して臆脚ばかりの皆さんが揃った、天候も後押しするかのごとく気持ちよく高揚させながらマイクロバスでの出発で山行となる。私事ですが今回で十四回目の谷川岳となる、ロープウェイで一気に天神平へそこで軽くストレッチをやって登山、土曜日とタイミングも良く同じような人達でにぎわっての行動登山開始である、山を愛する顔、顔、顔にはみんな充実した面持ちを感じる、この山は森林限界が 1500m 位と言うことで割合低い場所でも、高山植物は沢山見受けられる、何度となく来ても同じ場面はない、岩登りをし稜線へ出ると時折ガス



がかかって見通しが悪くなる、反面ガスが抜けると素晴らしい稜線模様が、分水嶺で日本海、太平洋へと流れ素晴らしい景観だ、しかしこの山（魔の谷川岳）は過去に 780 数名の遭難者を出している魔の山でエベレストでさえ今までに 170 数名位の遭難者がいる中でこの山はいかにアルピニストを引きつけ且つ魅力があったのかと想像を絶する程の山である、山頂トマノ耳、オキノ耳～ノ倉岳を過ぎ昼食、大自然の中で何を食しても飲んでも大変においしい、茂倉岳縦走路少し回り道になったり、荒れたり多くの人達が訪れる岩も磨かれ光っている。そこで一句



天神平駅と谷川岳



谷川岳稜線にて

### 癒されて靴ひも解く手に夕日さす

皆さん充実感がみなぎっていた、温泉入浴してユッタリとマイクロバスに乗り帰路につく。大変に雑ぱくで拙劣な日本語にて失礼致します、また色々な山行にご一緒させて頂ければ幸いです、ありがとうございました。



茂倉岳山頂 1,978m



茂倉下山中途半ば